



# 社会科同好会レポート✈

## 【社レポ vol.2】



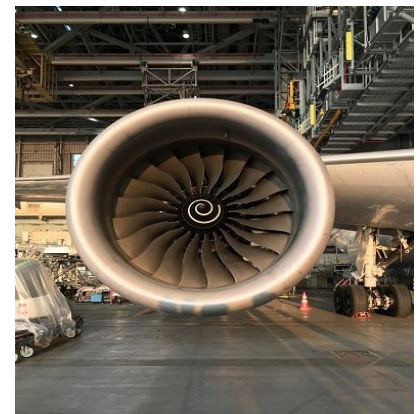
社会科同好会は毎学期の休曜日または長期休校中に1~2回、フィールドワークを行っています。興味のある人はぜひ社会科の先生に声をかけて参加してみてください！！

今回は2020年1月8日に私たちが科学部とともに参加したANAの機体工場見学について報告します！

まずANAについて紹介します！ANAはAll Nippon Airwaysの略称で全日空とも言われています。全日本空輸株式会社の前身は「日本ヘリコプター輸送株式会社」でした。空港サービスの指標である「World Best Airport Service」では過去7年で6回1位を獲得しています。1日当たりの飛行便数は1000便以上、保有機数は200を超えています。ちなみに国内線で利用者数が1番多いのは羽田⇄新千歳線です。羽田空港の敷地面積は開業当時の30倍まで広がり、1522haです。ANAはその敷地に広がる4本の滑走路で日々飛行機を離着陸し、海外からの玄関口として大きな役目を果たしています。(2年 瀬川)



まず室内ではCAさんからお話を聞きました！！みなさん飛行機のエンジンはいくらか知っていますか？実はなんと1つ35億もします！これを2つに、羽に、本体に...と考えていくと凄いことになりそうです。整備員さんのヘルメットも興味深かったです！目立つ黄色は新人。先輩が気付いてフォローしやすいからです。他も役職ごとに色が違います。各クラスの座席に座る体験もできました！ファーストクラスはさすがとしか言いようがない座り心地でした！！(1年 山田)



次に実際にANAの格納庫を見学させて頂きました。その時は整備済みの飛行機が一機と整備中の飛行機が一機ありました。格納庫には時計が2つあったのですが、直径160センチというとても大きな時計なのに100メートル先にあるとすごく小さく見えました。また、ガイドさんが色々なお話をしてくださいました。新人の整備士達は引退した飛行機で整備の練習をすることや、整備の工具が1つでも足りなかったら全員残って探さないといけないことなどを知りました。間近で飛行機を見たのは初めてだったので、想像していた何倍もあったので驚きました。貴重な経験が出来て良かったです。(2年 町田)

